

Report

Hokkaido Soil Research Cooperative Association

SRC



2026. 5
No. 418

ISSN 1342-1409

北海道士質試験協同組合広報誌



表紙写真 桜並木（弘前公園 西濠 春陽橋）
[写真説明]

4月18日に札幌、函館、帯広の各地方気象台から桜の開花発表がありました。札幌では平年より13日早く、昨年より5日早い発表となりました。GW前に満開となるも多くなってきておりますが、まだまだ肌寒い日もあり、もうちょっと待ってほしいと思うこともあります。スパイクタイヤが禁止された1990年より前は、春の砂埃によって桜の美しさが半減されていましたが、今ではこのようなことも少なくなりました。これからも桜がきれいな春であってほしいと思います。

目

次

1. 巻頭言	1
北海道土質試験協同組合 参事 折笠 章 『組合を支えた技術部職員たち』	
2. 令和8年度 設備機器更新計画について	5
3. 令和7年度第9回理事会議事録	6
4. お知らせコーナー	7
5. 組合員名簿	8
6. 部門別試験実績 2・3月分	10

「組合を支えた技術部職員たち」

北海道土質試験協同組合
参事 折笠 章

当組合に就職してから47年、多くの方々に支えられた有意義な時間でした。この間、組合員技術者の皆様には現場や夜の懇親会の場を通して、技術的な知識のみならず、人生の指針となるようなご指導を数多くいただきました。私がおかしたミスを幾度となく救ってくださった皆様の寛大さには、感謝の言葉もございません。また、当組合技術部の同僚たちとの絆も、私にとってかけがえのない財産です。お世話になった方々の多くは既に第一線を退かれましたが、これまでの歩みを支えてくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

ここで、すでに組合を卒業しましたが、組合の試験技術の発展に寄与し、特に記憶に残っている技術部職員との思い出を書かせていただきます。なお、個人情報保護の観点から彼らの氏名はイニシャルを使用させていただきます。また、昔の話なので、一部記憶が不明瞭のところもありますが、ご容赦ください。

○I.N.さん

彼女は昭和49年に入職し、定年まで35年にわたり勤務されました。昭和58年、運営見直しにより多くの同僚が退職し、当時物理試験を担当していた女性職員も全員辞めてしまうという大変な局面を迎えました。当時、力学試験を担当していたI.N.さんは、物理試験にも精通しており、特に北海道特有の火山灰や泥炭に関する高度なノウハウをお持ちでした。そのため、私が力学試験を引き継ぎ、彼女が物理試験チームのリーダーとなって新人への指導と膨大な物理試験業務を一手に引き受けてくれました。

彼女は非常に温和で、困っている人を放つとけない優しい性格でした。自分の業務が終わると、必ず忙しい他部署へ顔を出しては手伝っていました。私自身も毎日何十本ものシ

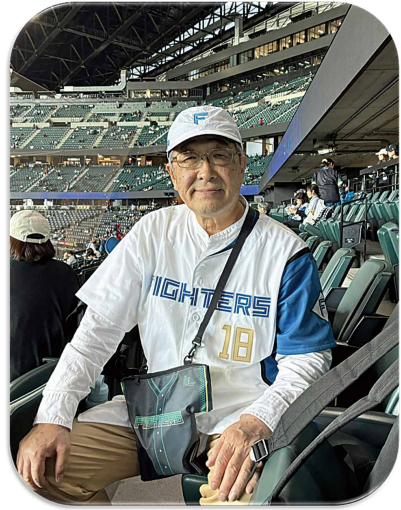


写真-1 昭和47年当時の土質試験協同組合

ンウォールから試料を抜き取って力学試験に追われる日々でした。特に粘性土試料は、採取直後から試料の劣化が始まるので、即座に密度測定、一軸圧縮試験、そして圧密試験容器へのセットを休む間もなく行わなければなりません。

深夜作業を覚悟していた時、彼女が扉からひょっと顔を出して「忙しそうだね、手伝おうか？圧密セットする？」とこやかに声をかけてくれたことは、まさに「地獄に仏」でした。彼女は決して目立つ存在ではありませんでしたが、組織が苦しい時に笑顔で周囲を支え、一度は途絶えかけた北海道の特殊土に対する試験技術の後輩たちへ見事につないでくださいました。

○E.Y.さん

彼は私とほぼ同時期に仕事を始め、30年間共に歩んできました。当時は私が力学試験、彼が岩石試験を担当していました。年々増え続ける試験依頼とそれにつれて増加する残業時間に対応するため、私たちは業務効率化を目指し、稼働体制の見直しや試験設備の増設、そして試験データの自動収録・制御システムと連動したデータ整理ソフトの開発に、組織全体で取り組むことになったのです。

しかし、試験機メーカーに問い合わせても「未対応」「検討中」との返答ばかり、費用も納期も見合わない状況に、私たちは「それなら自分たちで作ろう」と決断しました。この無謀とも思える結論に至ったのは、ひとえにE.Y.さんの能力を信じていたからです。彼の電気電子工学やプログラミングに関する知識は、いわゆる「オタク」の域をはるかに超えていました。

彼が中心となり、北海道のメーカーや電子関連部品を作製している会社に試験機本体や部品を個別に発注。それらを彼が統合して各システムと制御ソフトを組み上げ、併せて各



写真-2 物理試験室



写真-3 3連同時一軸圧縮試験機

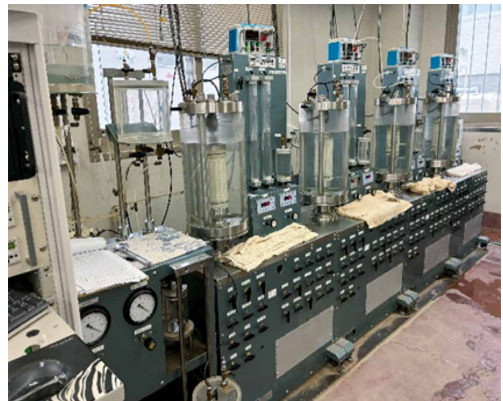


写真-4 4連三軸圧縮試験機

試験担当者がBASIC言語で整理ソフトを作製しました。この手法により、物理試験、一軸圧縮試験、三軸圧縮試験、圧密試験、岩石試験。動的三軸試験、締めめ試験、骨材試験などの主要な試験の半自動化と各種データ整理システムがわずか数年で完成したのです。

振り返れば、この経験は、業務効率化や試験精度の向上だけでなく、システム構築を通じて試験理論への理解が深まったことこそが最大の功績でした。E.Y.氏は「頑固者」で最後まで私とぶつかり合うことも多かったですが、今では彼に対する感謝の念に堪えません。

○O.U.T.さん

彼は昭和56年に当組合に入職し、40年の長きにわたり尽力いただきました。学生時代は土質を中心に研究していましたが、ちょうど組合が運営方針としてコンクリート試験への参入を掲げた時期であり、彼がその担当職員として白羽の矢がたてられました。

当時、職場内にはコンクリート試験の経験者が皆無という状況でしたが、北海道開発局土木試験所（現・国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所）の支援を仰ぎながら、懸命にコンクリート試験技術の習得に取り組みました。その後は、RCD用コンクリートやCSG配合試験、砂防ダムのINSEM配合試験、さらにコンクリートコアの劣化診断など、道内で建設された多くのダム建設に関わるコンクリート試験を実施してきました。業界の技術者からも厚い信頼を寄せられていた彼が、毎年春先にその年に実施される予定の配合試験の工程表とにらめっこしながら、試験スケジュールに頭を悩ませていた職人肌で責任感の強かった後ろ姿がいまでも懐かしく思い出されます。



写真-5 コンクリート圧縮試験中



写真-6 配合試験用供試体作製

○O.Y.T.さん

彼は平成元年に入職し、35年間の長きにわたり当組合を支えてくれました。入職当時は材料試験を担当していましたが、転機となったのは平成4年のことです。

当組合では昭和56年からX線回折分析に着手していましたが、平成4年の自動X線回折装置の導入を機に、本格的な運用体制を整えることとなり、彼がその担当者に抜擢されました。農業系の知識を有していた彼は、業務の傍ら北海道大学へ研究生として通い、X線分析に関する専門知識の習得に励みました。

彼の昼夜を問わぬ研鑽の結果、分析業務の依頼は着実に増加していきました。特に、当時は吸水膨張特性を有する「スメクタイト」の厳密な定量手法が確立していなかった中、彼は標準試料から得られた検量線を使用した組合独自の「粉末X線回折によるスメクタイトの定量方法」を確立。現在、この手法は多くのトンネル工事や重要構造物等の地質調査において、有効な分析手法として広く採用されています。

また、彼は人一倍責任感が強く、若かりし頃から打ち込んできた球技においても、運営団体の役員として現在も第一線で活躍されています。

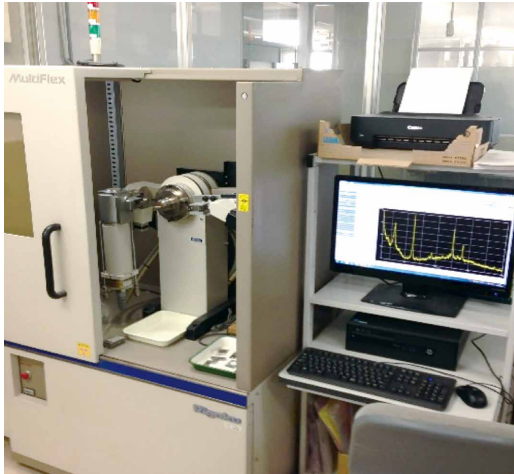


写真7 X線回折装置 (平成4年導入)

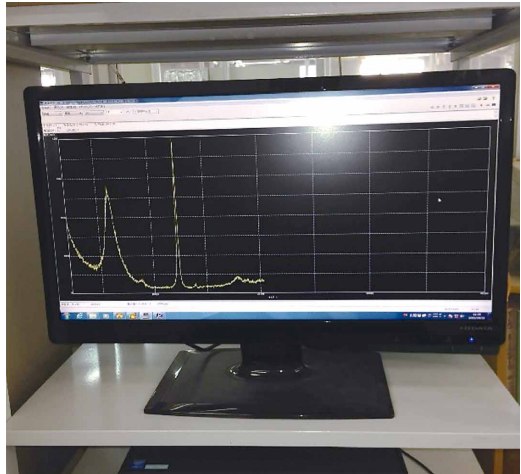


写真8 X線回折波

今回、紹介した職員のほかにも、組合の発展に寄与した職員は数多く在籍していました。現在の組合があるのは、試験技術の向上と業務効率化に真摯に取り組んできた先人たちの、不断の努力の賜物です。当組合で働いている職員の皆さんには、ぜひ、土や岩の奥深さに興味を持ち、楽しみながら仕事に取り組むことにより、さらなる技術向上と組合の発展を目指してほしいと願っています。



令和8年度 設備機器更新計画について

技術部 平 伸明

今年度の設備機器更新として「岩石切断機」と「動的三軸試験装置」の導入を計画しています。

(1) 岩石切断機

岩石コアなどの切断に使用している切断機は導入からすでに50年ほど経過しています。老朽化による設置基部の腐食や可動部の摩耗による切断精度、作業効率の低下が見られ部品供給などの維持管理が困難になっていることに加えて旧設備のために保護カバーや緊急停止などの基本的な安全対策機能が不足しており管理上の問題もあります。計画中の切断機は安全機能、自動送り機能を備えた切断機となっており切断作業に不慣れな人でも安全に作業することが可能となります。

(2) 動的三軸試験装置

動的三軸試験装置も一部の装置については導入から45年ほど経過しています。毎年のメンテナンスは行ってきましたが油漏れや制御が不安定な状況も時折見られ致命的な故障がいつ起きるかは予測が出来できません。交換部品の製造中止等もあり予期せぬ故障に対する体制の確保と試験精度の安定化のために更新を計画中です。現在の動的三軸試験は荷重制御方式ですが、計画中の動的三軸試験装置は荷重・変位制御方式に対応しており、繰返し载荷から通常の静的载荷までの一連の操作が容易になります。また近年、問い合わせをいただくことが多くなっているひずみ制御での変形特性試験にも対応可能な装置となっています。

今年度の更新試験機器については導入完了後に改めてご報告させていただきます。今後もしできるかぎり組合員様のニーズに応えるべく必要試験機器の更新を進め、より高品質な試験結果を提供していきますので皆様のご依頼・お問い合わせをお待ちしております。

**従業員の
意欲の向上につながります!**

中退共

CHU-TAI-KYO

の退職金制度

「中退共」は国がサポートする
中小企業のための退職金制度です。

安心 | 確実な退職金支払
安心の資産運用

有利 | 掛金は全額非課税
掛金の一部を国が助成

簡単 | 外部積立型で管理が簡単
退職金試算額もお知らせ

○パートタイマーさんも加入できます。
○他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。

詳しくはホームページをご覧ください 中退共 検索

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03) 6907-1234

令和7年度 第9回理事会 議事録

1. 開催日時 2. 開催場所 3. 理事総数 4. 議事の経過の概要	<p>令和8年3月24日(火) 午後1時30分 組合会議室 7名</p> <p>議案(1) 事業報告</p> <p>令和7年度1、2月期の事業実績を理事会資料に基づき説明した。売り上げについては1月2月共に単月の売上計画を達成することができなかった。累計売上については、2月時点で計画の9割程度であることが報告された。組合員利用率および員外利用率についても前年度と同程度であると報告された。一般管理費・原価については、いずれも計画よりやや低い金額で推移していることが報告された。3月期に関しては単月では計画を上回る受注状況だが、令和7年度の総売上げは、計画売上高240,000千円に対し95%程度となることが報告された。しかし、一般管理費および原価の低減により令和7年度としては一定の利益が予想できる状況であることが報告された。</p> <p>(有)共同土質試験の営業実績についても審議し、令和7年度計画売上高を下回る売り上げが予想されることが報告された。</p> <p>議案(2) 決算処理について</p> <p>事業利用分量歩戻金(案)と出資配当(案)について審議し、令和7年度の予想受注金額、予想利益を踏まえ、事業利用分量歩戻金1.0%、出資配当1.0%を総会に諮ることを承認した。</p> <p>議案(3) その他</p> <p>ア. 第61期通常総会の日程について審議し、令和8年5月25日(月)15:30より札幌東急REIホテルで開催とする原案を承認した。</p> <p>イ. 令和8年度更新設備機器について審議し、動的三軸圧縮試験機・岩石切断機の更新について承認した。</p> <p>ウ. 職員4名の昇格について審議し承認した。</p> <p>エ. 令和8年度行事予定に関し報告され、開催、参加について承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土質試験研修会(組合員企業若手職員対象):令和8年 4月16日(木)および4月23日(木)の2回開催 ・技術懇談会:令和8年 6月29日(月) ・ジオラボネットワーク経営懇談会:令和8年 6月5日(金) ・第10回SRC理事長杯ゴルフコンペ:令和8年9月予定 <p>令和8年度第1回理事会は、令和8年5月12日(火)に開催する事を決定した。</p>
--	---



組合員代表者変更について

下記の組合員に代表者の変更がありましたのでお知らせいたします。

記

株式会社 開発工営社

(新) 代表取締役社長

渡邊 政義

(旧) 高橋 公浩

令和8年2月

技術部から試験担当窓口のお知らせ

2025年度の試験業務受付窓口をお知らせいたします。受付時は各試験の主担当者にご連絡いただきたいと思います。試験項目が複数またがる場合は、該当するどちらかの主担当者に連絡いただければ各試験部門の主担当者に申し送りさせていただきます。主担当の部門以外で試験内容に不明点がある場合はその試験部門お担当者から再度連絡させていただきます。

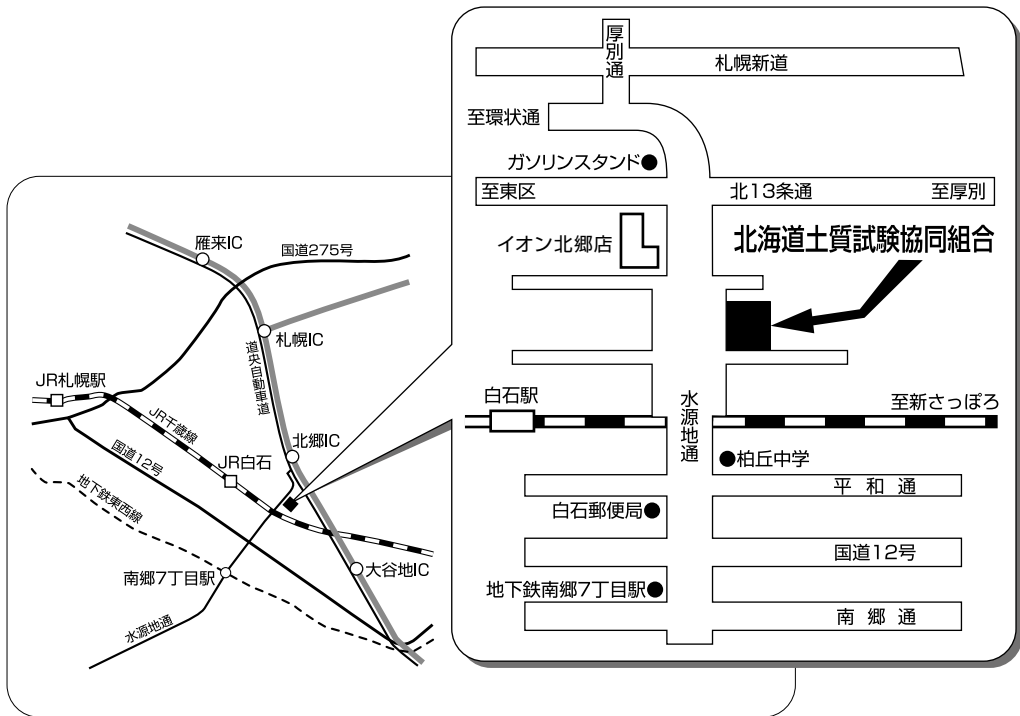
試験部門等	主担当
物理試験	場谷 (ジョウヤ)
力学試験	宇山 (ウヤマ)
材料試験	高橋 (タカハシ)
岩石、化学・X線分析試験	國枝 (クニエダ)
動的試験	平 (タイラ)
骨材(河床材料の粒度含む)	越前 (エチゼン)
コンクリート、砂防ソイルセメント試験	横野 (ヨコノ)
原位置試験、試験機器貸出	今・伊藤 (コン・イトウ)
電子納品業務	山内・金井 (ヤマウチ・カナイ)
地盤検定業務	金井・伊藤 (カナイ・イトウ)
その他、試験内容全般、見積	金谷 (カナヤ)

組 合 員 名 簿

組 合 員 名	電話番号	FAX番号
株 北 海 工 営 社	561-1407	551-9211
ト キ ワ 地 研 株	751-4841	721-3603
大 地 コ ン サ ル タ ン ト 株	(0166)22-7341	(0166)22-9333
ア ー ス コ ン サ ル タ ン ト 株	(0166)32-3111	(0166)32-2800
上 山 試 錐 工 業 株	241-6516	241-0336
建 基 コ ン サ ル タ ン ト 株	736-6355	736-6357
大 日 本 ダ イ ヤ コ ン サ ル タ ン ト 株 北 海 道 支 社	729-2701	729-2687
防 災 地 質 コ ン サ ル タ ン ト 株	763-2939	763-2932
明 治 コ ン サ ル タ ン ト 株	562-3066	562-3199
株 ユ ニ オ ン ・ コ ン サ ル タ ン ト	746-8281	746-8284
有 共 同 土 質 試 験	873-9895	873-9890
株 建 設 コ ン サ ル タ ン ト	737-1111	737-2111
野 外 科 学 株	751-5151	741-4797
日 本 工 営 株 札 幌 支 店	205-5531(営業)	252-0345(営業)
サ ン コ ー コ ン サ ル タ ン ト 株 札 幌 支 店	271-2235	271-2177
基 礎 地 盤 コ ン サ ル タ ン ツ 株 北 海 道 支 社	822-4171	822-4727
拓 北 地 下 開 発 株	(0154)51-4711	(0154)55-2200
株 道 北 開 発 試 験 セ ン タ ー	(0166)49-2626	(0166)49-2468
中 央 開 発 株 札 幌 支 店	788-7097	788-7099
太 平 洋 総 合 コ ン サ ル タ ン ト 株	(0154)41-2633	(0154)42-8539
株 シ ン 技 術 コ ン サ ル	859-2600	859-2613
日 特 建 設 株 札 幌 支 店	596-8096	596-8097
株 開 発 調 査 研 究 所	852-5053	855-1298
三 和 土 質 基 礎 株	642-9391	644-8911
株 ズ コ ー シ ャ	(0155)33-4400	(0155)33-7100
株 北 開 水 工 コ ン サ ル タ ン ト	(0155)66-8710	(0155)66-8751
株 エ ー テ イ ッ ク	644-2845	644-2895
和 光 技 研 株	611-0206	612-2092
ダ イ シ ン 設 計 株	222-2325	232-0540
株 シ ビ テ ッ ク	816-3001	816-2561
パ ブ リ ッ ク コ ン サ ル タ ン ト 株	222-2577	251-3176
北 海 道 道 路 エ ン ジ ニ ア リ ン グ 株	824-2511	824-2593
株 開 発 工 営 社	207-3666	218-5777
株 シ ー ・ イ ー ・ サ ー ビ ス	855-4440	854-3231
国 土 防 災 技 術 北 海 道 株	232-3521	232-3523
北 海 道 土 質 コ ン サ ル タ ン ト 株	841-1466	841-5490
株 レ ア ッ ク ス	780-2222	780-2221
株 ア ク ア ジ オ テ ク ノ	866-5522	866-5521
北 海 道 土 木 設 計 株	231-6321	231-5223
株 地 圏 総 合 コ ン サ ル タ ン ト 札 幌 支 店	615-1520	615-1527
エ ス エ ス コ ン サ ル 株	(0156)25-5767	(0156)25-5041
株 プ ラ テ ッ ク	(0154)32-3081	(0154)24-7838
株 ケ イ ジ ー 技 研	261-5001	261-5034
川 崎 地 質 株 北 海 道 支 店	350-0044	350-0042
株 構 研 エ ン ジ ニ ア リ ン グ	522-5010	522-5915
株 シ ー ウ ェ イ エ ン ジ ニ ア リ ン グ	824-6001	824-6002
株 北 海 道 技 術 コ ン サ ル タ ン ト	753-5560	753-4814

令和8年4月現在

代 表 者 名	住 所
代表取締役社長 本 多 俊 司	064-0809 札幌市中央区南9条西16丁目1番27-201
代表取締役社長 小 林 直 幹	065-0028 札幌市東区北28条東2丁目1番22号
代表取締役社長 千 葉 新 次	070-0054 旭川市4条西2丁目1番12号
代表取締役社長 伊 藤 稔	078-8234 旭川市豊岡4条7丁目7番13号
代表取締役社長 渡 邊 孝 文	060-0032 札幌市中央区北2条東13丁目1番7号
代表取締役社長 柏 原 浩	001-0023 札幌市北区北23条西9丁目2番16号
執行役員北海道支社長 佐 藤 春 夫	001-0010 札幌市北区北10条西2丁目13番地2
代表取締役社長 雨 宮 和 夫	001-0908 札幌市北区新琴似8条15丁目3番23号
代表取締役社長 原 口 勝 則	064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目21番地1
代表取締役社長 渡 辺 均	001-0045 札幌市北区麻生町7丁目3番12号 U.C.BLD.
代表取締役社長 田 中 卓	003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号
代表取締役社長 笠 原 成 悟	001-0013 札幌市北区北13条西4丁目1番6号 建設コンサルビル
代表取締役社長 高 岡 伸 一	065-0043 札幌市東区苗穂町12丁目2番39号
札幌支店長 岩 佐 卓 実	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地 札幌センタービル
札幌支店長 室 田 昭 光	060-0042 札幌市中央区大通西12丁目4-69 あいおいにぎや(同和損保札幌大通ビル3F)
執行役員北海道支社長 萩 原 協 仁	003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7番1号 S-Eビル
代表取締役社長 田 中 卓	084-0913 釧路市星が浦南1丁目3番7号
代表取締役社長 佐 羽 内 良 一	079-8444 旭川市流通団地4条5丁目26番2
札幌支店長 阿 部 哲 男	060-0806 札幌市北区北6条西9丁目2 ホクスイビル2階
代表取締役社長 工 藤 覚	085-0815 釧路市材木町15番5号
代表取締役社長 重 清 祐 之	003-0021 札幌市白石区茶通2丁目8番30号
執行役員札幌支店長 大 川 浩	060-0001 札幌市中央区北1条西10丁目1番地15 UD札幌北一条ビル7階
代表取締役社長 佐 藤 彰 紀	062-0054 札幌市豊平区月寒東4条10丁目7番1号
代表取締役社長 野 田 賢	063-0804 札幌市西区二十四軒4条5丁目11番10号
代表取締役社長 高 橋 宣 之	080-0048 帯広市西18条北1丁目17番地
代表取締役社長 森 田 康 志	080-0807 帯広市東7条南17丁目1番地1
代表取締役社長 舟 田 幸 太 郎	063-0801 札幌市西区二十四軒1条5丁目6番1号
代表取締役社長 坂 井 敦 行	063-8507 札幌市西区琴似3条7丁目5番22号
代表取締役社長 本 多 弘 幸	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地 道通ビル
代表取締役社長 渡 辺 亮	003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目8番1号
代表取締役社長 長 榮 作	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 (第2道通ビル4F)
代表取締役社長 生 出 信 二	003-0013 札幌市白石区中央3条2丁目1番40号
代表取締役社長 渡 邊 政 義	060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1番地 アスティ45ビル13階
代表取締役社長 清 水 文 彦	062-0032 札幌市豊平区西岡2条8丁目5番27号
代表取締役社長 塩 野 康 浩	060-0033 札幌市中央区北3条東3丁目1-30 (KNビル)
代表取締役社長 中 川 岳	062-0931 札幌市豊平区平岸1条2丁目5番16号
代表取締役社長 成 田 昌 幸	065-0024 札幌市東区北24条東17丁目1-14
代表取締役社長 石 塚 学	003-0025 札幌市白石区本郷通9丁目北4-5 アクアビル
代表取締役社長 若 山 浩	060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル
札幌支店長 諏 訪 喬 祐	064-0823 札幌市中央区北3条西26丁目1番20号
代表取締役社長 村 瀬 義 美	089-3716 足寄郡足寄町南6条4丁目62番地
代表取締役社長 阿 部 操	085-0008 釧路市入江町9番2号
代表取締役社長 原 俊 哉	060-0063 札幌市中央区南3条西13丁目320番地
北海道支店長 吉 田 透	001-0045 札幌市北区麻生町7丁目3番12号 U.C.BLD2F)
代表取締役社長 池 田 憲 二	060-0034 札幌市中央区北4条東4丁目1 創成クロス
代表取締役社長 佐 野 彰	003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目1番25号
代表取締役社長 関 部 健 治	065-0043 札幌市東区苗穂町4丁目2番8号



① 高速道路を利用した場合

- 旭川方面から 札幌IC出口より 約10分
- 小樽方面から 大谷地IC出口より 約10分
- 室蘭方面から 札幌南IC出口より 約15分・北郷IC出口より 約8分

② 国道を利用した場合

- 旭川方面から 国道12号から水源地通りを右折
- 小樽方面から 札幌新道(国道274号)から厚別通りを右折し水源地通りを左折
- 室蘭方面から 国道36号から水源地通りを右折

③ 公共交通機関を利用した場合

- JRを利用した場合 JR白石駅下車、徒歩約15分
- 地下鉄を利用した場合 市営地下鉄東西線、南郷7丁目駅下車、徒歩25分
又は、北海道中央バス(白25番)に乗り継ぎ、北郷2条8丁目下車

● 発行所

北海道士質試験協同組合

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号

TEL 011-873-9895 (代表)

FAX 011-873-9890 (総務部)

FAX 011-874-1910 (技術部)

ホームページアドレス <http://www.src.or.jp/>

地質調査業者登録

土壤汚染指定調査機関登録

ISO/IEC17025:2018認定登録

● 発行日

第418号 令和8年5月15日

● 編集責任者

竹花 大介

● 印刷

株エーシーピー TEL 231-7575

